

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年10月20日 No. 30 文責：佐野紳二

読書の秋 10月18日～29日 橿形北小学校読書週間

橿形北小学校では、読書週間（10月27日～11月9日）に合わせて、今年も10月18日から29日までの2週間を「橿形北小学校読書週間」として、子どもたちに読書を勧めるために、さまざまな取組を行います。今年行う取組は、以下の6つです。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① 北小タイムに全校一斉読書 | ④ 橿形北小 おすすめの本、総選挙 |
| ② 本の貸し出しを5冊に | ⑤ 先生方のおすすめの本の紹介 |
| ③ 先生方の読み聞かせ | ⑥ 図書委員のおすすめの本の紹介 |



個人的には、④の「おすすめの本、総選挙」の結果がどうなるかが、今からとても楽しみです。

ちなみに、「小学生が選ぶ！子どもの本総選挙」では、ベスト3は2年連続で全く同じ、第1位が「ざんねんないきもの事典」、第2位が「あるかしら書店」、第3位が「りんごかもしれない」でした。北小ではどうなるかな？

毎年恒例になっている「先生方のおすすめの本」ですが、こちらはすでに職員室前の掲示板に貼りだされています。それぞれの先生が自分の「おすすめ」を紹介しているので、「これからどんな本を借りようかなあ～」なんて迷っている人がいたら、ぜひ参考にしてもらえればと思います。私も、読んだことがない本がほとんどなので、今年中には何冊かを手に取ってみたいと思っています。

また、先生方のおすすめの本の反対側（廊下の北側）には、図書委員さんのおすすめの本も紹介されています。こちらも面白そうな本がいっぱいで、興味をそそられます。



先生		おすすめの本
校長	佐野 紳二	都会のトム&ソーヤ
教頭	中村 博文	ふしぎなキャンディーやさん
教務主任	河野 太郎	おしゃべりなたまごやき
1年1組	田中 千鶴	みずをくむプリンセス
1年2組	五味 加奈	めいたんていサムくんとあんごうマン
2年	佐久間聖美	テスの木
2年	空閑 健二	おおきな木
3年	石黒 龍	はれときどきぶた
2, 3年	雨宮 郁子	びりっかすの神さま
4年	小笠原 藍	ぞうのエルマー
5年	門田 理恵	あんなに あんなに
4, 5年	秋山 雅子	少年探偵団 対決！怪人二十面相
6年	齊藤 千帆	カラフル
6年	加賀美 敏	数の悪魔 ～算数・数学が楽しくなる12夜～
どんぐり	腰巻笑里美	ちいさいおうち
つくし①	椎名 恵美	かものはしくんのわすれもの
つくし②	志村 江里	ともだちは海のにおい
すみれ	齊藤みなみ	教室はまちがうところだ
養護教諭	名取由美子	10歳の君に贈る心を強くする26の言葉
事務主査	石川恵美子	二分間の冒険
司書	深澤 法子	高すぎ！安すぎ！？モノのねだん事典

私たちはいろいろな目的で本を手に取ります。私も何かを調べるときや、興味があること・新しいことを知りたいときには本を読みますが、純粋に「面白そう」と思って本を読むこともあります。年齢が上がるに連れて「知識を得る」という目的で本を手にとることが多くなっていくように思いますが、子どもたちには、まずはどんな本でもいいので手に取ってもらい、「本を読むって面白い!」という感覚をたくさん味わってほしいと思います。

読書のよさ(効果・メリット)についてはいろいろなことが挙げられています。ちょっと調べてみると、次のようなメリットが挙げられていました。

なんかこんなふうには書くと、「読書をする以外での目的で本を読む」みたいな感じに取られてしまうかもしれません。こうしたメリットはどこかに置いておいたとしても、本を手にとって読むことでしか得られない「楽しさ」や「魅力」が読書にはあると思います。子どもたちにも、読書週間のとりくみをきっかけに、いい本との「出会い」をしてほしいなあ~と思っています。ぜひ、お父さんやお母さんも、涼しい秋の夜長、お子さんと一緒に本を手にとってみてはいかがでしょうか。

- ①新しい知識や情報が得られる
- ②創造力(想像力)が鍛えられる
- ③語彙力や文章力が養われる
- ④心に余裕ができる(ストレスの解消になる)
- ⑤集中力が身につく
- ⑥人とのコミュニケーションが円滑になる
- ⑦柔軟な思考が持てる
- ⑧いろいろな世界の疑似体験ができる



月曜日に行われた読み聞かせの様子と、先生方のおすすめの本

初めての小笠原流礼法 1年生が小笠原流礼法を教えていただきました

南アルプス市では、すべての小中学校の学級で1年間に2回、小笠原流礼法の授業を行っています。本校には西海師範が月に1度くらい来校し、礼の仕方や物の受け渡し方、折形やひも結びなどさまざまなことを子どもたちに教えてくれます。



この日は、1年生の教室で礼法の授業が行われました。1年生にとっては初めての礼法の授業でしたが、小笠原流礼法の歴史や正しい姿勢、あいさつ、お辞儀などを、とても丁寧に教えていただきました。どの子どももとても真剣なまなざしで授業を受けていて、講師の西海師範も「とても落ち着いた1年生ですね。私の方が緊張してしまいました。」とおっしゃっていました。これから9年間の中で、礼法の極意である「相手を思いやる心」について、しっかり学んでほしいと思います。

今週の「イイね!」 子どもたちの朝のあいさつが

毎朝、学校西側の横断歩道に立っていると、曲輪田・上宮地から登校してくる子どもたちが「おはようございます」とあいさつをしてくれます。中でも、毎朝自分から進んであいさつをしてくれるのが、児童会長の真拡さんのグループと、5年生の男の子です。朝、元気なあいさつを聞くと、それだけで「今日も1日、がんばろう!」と、元気が出てきます。

